



学校だより

令和5年 11月30日

NO. 8

飛躍

狛江市立緑野小学校

<http://www.komae.ed.jp/ele/midorino/>

たくましい体と心
生活の自立を目指して

○はやね ……低8時・中9時・高10時しゅうしんをめざそう！
○はやおき ……目覚まし時計を使って、じぶんでおきよう！
○あさごはん……まいにちたべよう！

見通しをもつことの大切さ

校長 亀田 親子

「そうだ、旅行に行こう!」と考えたら、何をしようか。ほとんどの人は、まず行き先を決めようと思います。そして、どのようなルートで目的地に行くか交通手段を考えるでしょう。それから何を観るのか、何を体験するのかを考えたり、その土地ならではのグルメを調べて何を食べようかを考えたりすることでしょう。何を着て行こうか悩むのも楽しい時間です。徐々に計画が出来上がっていくと、次第にワクワクした気持ちになり旅行への期待感も膨らんでいきます。そして、旅行当日、立てた計画を頭に入れて(メモも持って)出発します。もちろん、しっかり計画を立てているので、見通しをもちながら安心して旅行を楽しむことができます。旅行中も、予定通りに観光や体験をし、美味しい物を食べ、お土産を買って満足感に浸ります。家に帰ってきたら、「あー楽しかった。ぜひ、また旅行に行こう!」と思うのではないのでしょうか。では、この旅行が行き先も分からない、何をしようか分からないミステリーツアーだったらどうでしょう。きっと不安に思う人が多いでしょうし、そんな旅行なら行かないと言う人もいるでしょう。つまり、先が見えず予測ができないことに対して、不安を抱くことは当然なことなのです。

学校の教育活動は旅行と似ています。授業においては、学習のめあてがはっきりと示され、そのめあてを達成できるような活動を計画的に行います。そうすると、児童は安心して学習に取り組むことができます。そして、その成果をしっかりと振り返ると、次の学習への見通しが立ち、意欲に繋がっていきます。学校行事においても、本校では次年度の自分を想像することを大切にしています。例えば、春には低学年、中学年、高学年の2学年ずつにまとまって遠足に行きます。いずれも、上学年が下学年をお世話します。前年度に行っているから見通しをもって活動することができるのです。秋の発表会では1・4年生が図工、2・5年生が音楽、3・6年生が学習、えのき学級は音楽と学習を順番に発表します。これも、来年の自分を見通せるようになっているのです。その他にも多くの場面で、短期的・長期的に児童も教職員も見通しをもって教育活動に取り組めるように工夫をしています。一つ一つの経験が自分の経験となり、これが積み重なることで自信へと繋がっていくのです。自信がつけば、人生の中で必ず訪れるミステリーツアーにも不安にならずに挑戦し、楽しむこともできるようになるでしょう。これからも、見通しをもつことを大切にしながら、児童に自信をつけられる教育活動を展開してまいります。

令和5年もあと一ヶ月となりました。今年も本校の教育活動に御理解・御協力をいただき誠にありがとうございました。冬季休業は、児童が家庭に戻る貴重な休みとなります。御家族皆様で心豊かな時間をお過ごしください。

《「コミュニティ・スクール通信」について》

2次元コードから、狛江市教育委員会が毎月発行する「コミュニティ・スクール通信」にアクセスできますので、是非ご覧ください。

